

令和元年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校番号

64

福岡県立明善高等学校長
全日課程

印

学校運営計画 (4月)				評価 (総合)	
学校運営方針		本校の教育の目的は「知力を以て社会に寄与する人材を育成する」ことにある。この目的を達成するため、「高い志」「豊かな人間性」「確かな学力」を高める主体的な学びを通して、確かな価値観に立脚したグローバルリーダーを育成する。			
昨年度の成果と課題		今年度重点目標		具体的目標	
<p>SSH事業第2期2年次、普通科では学校設定教科「STL総合」の科目「STL探究Ⅰ」「STL探究Ⅱ」において課題研究に取り組みさせた。一年次と比較して、研究意欲の向上が見られるなど一定の成果があった。指導方法を含め、指導体制の確立に努めたい。</p> <p>本年度は、特に第3学年全員で取り組む「STL探究Ⅲ」において、指導内容及び評価方法等の改善を図り、課題研究の全校体制を定着させる。また、地元企業や大学等も含めた地域との連携を図り、探究的な活動の質の深化を図りたい。</p> <p>昨年度に引き続き、「学ばせ方」を研究し、教育活動全体をとおして、リーダーに求められる資質・能力を高め、明るくタフな明善生の育成に努める。</p>		学びの成果を社会課題につなげるとともに、「志の育成」に努め、主体性の質を高めるべく、キャリア教育を推進する。		○職業観育成講座や大学セミナー、献血などのあらゆる機会を通して、生徒の志の育成を図り、自らの進路を切り拓くことのできる積極的な生徒を育成する。	
		「深い学び」に導くことのできる「質の高い授業」の創造を目指し、教科マネジメントの充実を図り、確かな学力の育成に資する。		○教科マネジメント力の強化と教科指導の系統性の確立を図り、生徒の学力向上に繋げる。 ○ICTを有効活用し、効率的な授業展開を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践する。	
		学校への帰属意識を高め、自他を認め高め合う共感的な人間関係や、人権尊重の精神・自律心・思いやりの心を育て、いじめ撲滅に資する。		○清掃活動やボランティア活動を通して望ましい勤労観や職業観を育成する。 ○学校行事等とおして状況把握・判断・対応する能力、良質なコミュニケーション能力を育成する。 ○教育相談や面談等、全ての教育活動の中で望ましい人間関係力を育て学校への帰属意識を高める。	
		SSH事業を充実させるとともに、海外修学旅行、総文コース海外研修等、国際交流の機会をとおして、グローバルリーダーの育成を図る。		○「STL探究Ⅰ」「STL探究Ⅱ」「STL探究Ⅲ」の指導体制を確立し、生徒の意欲的な課題研究を支援する。 ○専門家や同窓生による支援体制を構築することにより、後進への指導を意欲的に行う人材を育成する。	
		地域の人材等と連携し、探究的な活動等ができる体制を構築するとともに、広報活動を充実させ、地域社会から信頼される開かれた学校を目指す。		○生徒及び保護者のニーズに応える教育実践で、より満足度の高い学校を目指す。 ○生徒の頑張りと教師の実践を積極的に広報・発信し、信頼される明善高校を作り上げる。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度に向けた主な課題
教務	授業改善を行い、家庭学習を充実させるとともに、観点別評価に基づいた評価を行うことで、確かな学力の育成を図り、生徒の学力を向上させる。	2回の授業アンケートと学習時間調査等の分析により、指導法の改善に努める。	A	A	授業アンケート等の各種調査を先生方へフィードバックすることで客観的な評価による授業改善につなげることができた。さらに、他の分掌との連携により、学校全体として授業改善に取り組むこともできた。次年度は、令和4年度からの新学習指導要領の実施に向けて、本校に相応しい教育課程の編成に努める。また、観点別評価についても、校内研修等を通して全職員で理解を深めながら、生徒の多様な学力をしっかりと評価し、学力や学習意欲の向上につながるような評価のあり方についてしっかりと研究を進める。
		学習リサーチから読み取れる課題を明確にし、指導の在り方を検討する。	A		
		新しい教育課程で3年目を迎える。特に、理科系の成果と課題の分析を行い、指導改善に繋げていく。	B		
		研修部と連携し、授業相互参観の在り方を充実させ、授業改善につなげていく。	A		
		保健室・学年と連絡を密にとり、生徒の状況を早期かつ的確に把握する。	A		
庶務	早めに計画・立案することで、事前準備を徹底し、式典や各種行事を円滑に実施する。	式典係、保健体育科、学年、各分掌、事務室と連携を密にする。	A	A	保健体育科、学年、各分掌、事務室の連携・協力により、各種式典・行事を円滑に実施できた。次年度は、庶務課業務の継承や体育館暖房・放送設備の改善など検討を行う。
		保護者会・同窓会と連携し、各種行事を実施する。	A		
		行事毎に記録を残し、改善点を明確にして次につなげる。	B		
広報情報	生徒の活動状況を積極的かつ迅速に発信することで広報活動を促進するとともに、校務用パソコン・LANの適正な管理と運用を行う。	広報誌「楽天」「別冊楽天」を充実させ、学校案内には生徒の視点を加える。	A	A	学校案内については、新たな取り組みとして動画を取り入れた。今年度は完成が遅れたので、次年度は日程を見直し早めの作成を目指す。また、内容もさらに充実させたい。広報活動全般において、動きの遅かった点を反省し計画的で迅速な情報発信を行う。
		ホームページを随時更新するとともに、掲載内容の見直しを進める。	B		
		職員・生徒の情報に関するセキュリティ意識の向上を図る。	A		
SSH (スーパーサイエンスハイスクール事業)	全生徒・全職員が一体となってSSH事業に取り組むことで、学校全体の活性化を図る。	SSH事業の目的を全職員で共有し、全校体制で運営と指導に当たる。	A	A	10月の中間評価において文科省より指摘を受けた事項については、内容を見直し、次年、次々年度の2年間で改善を図る。本年度より教務課・図書研修課との協議により、授業改善に向けての取組を組織的に行うことが出来たので、次年度は、進路指導部や学年部と協議しながら、新入試制度にSTL探究の成果が活用できるようなシステムを整えたり、広報情報部と密に連絡を取り合いながら、SSH活動を広く普及させるため、HPを活用した広報活動を行う。
		全生徒が取り組む課題研究の在り方や評価方法を検討する。	B		
		課題研究の充実を図り、問題解決能力高めることで学習意欲を向上させる。	A		
		校外研修について、よりその効果が表れるよう内容を改善し実施する。	A		
		生徒の志望動向や進路実績等をもとに、SSH事業の効果を分析する。	B		
理数科	各事業内容を充実、活動の推進を通して、科学技術系人材の育成を目指す。	研究開発の成果を広く発信し、外部からの評価・指導を受ける。	A	A	1年時の研修については、前年度の反省点を改善しより充実したものになった。今年度新たに、SSH推進課より引き継ぐ形でアメリカ研修を実施した。次年度、多くの研修が理数科の魅力のひとつとなるように工夫・改善し実施していく。課題研究についても1、2年生ともに新たな試みによって、成果が得られると共に改善すべき点が現れたのでSSH推進課と連携し、組織的に取り組んでいく。広報活動に関しては、理数科の魅力を全面に出した、求める生徒像をより強調するかたちで行う。
		1年次「東大京大訪問」を実施し、進路意識の向上や進学意欲の向上を図る。	A		
		校外研修(九州大学、久留米大学病院訪問等)を充実させ、各分野での興味関心を引き出す。	A		
		課題研究の充実により、探究心、問題解決能力およびプレゼンテーション能力の伸長を促す。	B		
		1、2年生のオリエンテーションにとどまらず、学年間の交流の場を設け、理数科の連携を図る。	B		
理数科の学年間の繋がりを強化する。また、外部への効果的な広報活動を実施する。	中学生に向けての事業(体験入学、進路相談事業)を効果的に活用する。	A	A		
	理数科案内、理数科通信、HPを効果的に活用し、情報発信する。	A			

【評価規準】
A: 十分達成できた
B: 概ね達成できた
C: あまり達成できなかった
D: まったく達成できなかった

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度に向けた主な課題
総合文科 コース	目的・意図・実施するのに適した時期を十分に検討し、行事の内容の充実・特性化を図り、志の育成と学力の向上を図る。	生徒の人的成長に繋がる出前講義を充実させ、実施回数を増やす。	A	A	出前講義の第1回では久留米市出身で、地元久留米から日本文化を世界に発信し活躍されている方、第2回では、福岡県出身で現在海外(香港)を中心に活躍されている方と段階を踏んで、世界に目を向けることができる講義を実施することができた。東大・京大訪問では、総文卒業生から大学案内や講話をしてもらった。来年度は東京でオリンピックが開催されるため、実施時期等を再考する必要がある。
		大学・企業訪問の訪問先と内容を再度練り直し、更に進路意識を高めるものにする。	A		
		アメリカ合衆国研修や校外研修を充実させ、世界を考える視点、社会貢献の精神を養う。	A		
生徒指導	豊かな人間性をもち主体的に行動し社会に貢献できる生徒の育成する。	入学当初から3年間を通して学校行事への主軸役員としての参加意欲を高める。	A	A	生徒会活動のさらなる活性化に合わせ、リーダーの育成と、生徒の問題解決に向けた行動を促す必要がある。交通マナーや校外の行動について外部からの指摘があり、またSNSの利用についても課題が残ったので、今後、校外での行動を含め、指導や啓発の徹底を図っていかなければならない。18歳成年年齢引き下げを見据え、今後の本校の生徒指導の在り方を検討する時期に来ている。部活動においては、文化部を中心に多くの部が九州大会への出場を決め、大いに活躍した。
		総文OB・OGとの繋がりをもち講座等を行い、進路意識の向上に繋げる。	A		
		3年間を見通した英語課題研究の授業の内容、指導法を体系化する。	B		
保健	生徒の心身の健康状態を把握し、健康管理・健康教育を充実する。	生徒会活動の更なる活性化を図る。	B	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		部活動を充実させる。	A		
		学年間の連携を図りながら、学校行事を通してリーダーを育成する。	A		
進路指導	進路目標達成に向けての取組を充実させる。	スマートフォンやSNSを正しく使用させる。	B	B	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		3年生を中心に政治参加教育を推進する。	A		
		日常生活におけるマナー教育を徹底する。	B		
図書・研修	図書委員会活動を活性化させ、生徒の読書意欲を喚起し、増進させる。新図書館の利用の充実を目指す。	健康診断・身体計測の結果をもとに助言を行い、生徒の自己管理能力を育成する。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		校内で情報共有を図り、心の相談等専門医や学校医と連携し、生徒を支援する。	B		
		「午睡推進Day」を定期的に設けて、より主体的な午睡ができるように環境整備を図る。	A		
第1学年	基本的な生活習慣を確立させるとともに、主体的な学習習慣を育成する。	「塵一つない環境」の実現に向けて、生徒がより主体的に行う日々の清掃を目指す。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		「美化週間」を学期一回設け、済美委員会を中心に、各掃除区域を自治で管理する体制をつくる。	B		
		各自のゴミ、各部活動で発生するゴミの分別を徹底する。	B		
第2学年	自立した主体的な生活態度や学習習慣を身につけさせる。	学年・教科・部活動との連携を密にし、学習意欲を向上させ主体的に学習に取り組む態度を養う。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		模試分析会、志望校検討会等を充実させ、各学年の課題、指導方針について全職員で情報を共有する。	A		
		2020年に向け、課外・講座・土曜教室・特別講座等の運営について評価・改善を重ねる。	B		
第3学年	最上級生としての品位と規範意識を確立させそれなりの立ち振る舞いを行うとともに、周りの人や社会に貢献できる逞しい明善生を育成する。	ホームルーム活動の時間を有効に活用し、3年間を見通した計画的進路指導を行う。	B	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		大学セミナー・職業観育成講座・各種セミナーを通じて主体的に生きる態度を養う。	A		
		小論文、弁論大会等の取組をととして、言語活動の充実を図り、表現力・コミュニケーション能力を身につけさせる。	A		
第1学年	学校行事や部活動への積極的な参加を促し、文武両道を目指させる。	有益・実務的・課題解決に役立つ職員研修を計画・実施する。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		生徒の実態に応じた人権教育を充実させるとともに教職員の意識および指導力の向上を図る。	A		
		時間厳守、掃除、端正な服装、爽やかな挨拶等ができる自律した生徒を育成する。	B		
第2学年	修学旅行などの学校行事に主体的に積極的に参加させ、見聞を広めるとともに、志の育成に努める。	予習や復習を習慣付けさせ、計画的で主体的な学習ができるように指導する。	A	B	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		将来の自分の目標を確立させ、新しい大学入試問題にも対応できる学力の育成を目指す。	B		
		部活動へ積極的に入部するように勧める。加入率90%を目指す。	A		
第3学年	何事にも積極的に学習に取り組ませ、自己の進路実現を果たさせる。	学校行事へ主体的に積極的に参加する態度を育成する。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		様々な場面でリーダーシップ、フォロワーシップを育成し、協調性を養う。	B		
		将来の目標を明確化させ、主体的に学習に取り組むように指導する。	A		
第1学年	自立した主体的な生活態度や学習習慣を身につけさせる。	時間厳守、挨拶、身だしなみ、清掃に対する姿勢を身につけさせ、自ら考え自らを律するよう指導する。	B	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		リーダーシップやフォロワーシップを育成し、協調性を養う。	A		
		修学旅行に主体的に参加させ、自らのあり方について考えさせる契機とさせる。	A		
第2学年	自立した主体的な生活態度や学習習慣を身につけさせる。	大運動会等に主体的に参加させ、精神的な成長を促す契機とする。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		学校の中堅学年としての自覚を持たせ、主体的に行動できるように指導する。	A		
		最上級生としての品位と規範意識を確立させそれなりの立ち振る舞いを行うとともに、周りの人や社会に貢献できる逞しい明善生を育成する。	A		
第3学年	何事にも積極的に学習に取り組ませ、自己の進路実現を果たさせる。	挨拶、時間厳守、端正な服装、清掃活動について、自律した規範的な行動ができるように指導する。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		学校行事、部活動において、積極的に参加する生徒やリーダーシップが発揮できる生徒を育成する。	A		
		受験勉強等を通して、不安や困難に打ち勝つことで、強い精神力を養う。	B		
第1学年	自立した主体的な生活態度や学習習慣を身につけさせる。	面談や進路講演会を通して進路意識を高め、自己の進路実現に向けて尽力させる。	A	B	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		学校を中心とした生活に取り組ませ、家庭学習時間を充実させる。	B		
		生徒の学力推移や学習状況を学年会や模試分析会等を活かし、指導の方向性の共通認識を図る。	B		
第2学年	自立した主体的な生活態度や学習習慣を身につけさせる。	模試分析会、志望校検討会等を充実させ、各学年の課題、指導方針について全職員で情報を共有する。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		2020年に向け、課外・講座・土曜教室・特別講座等の運営について評価・改善を重ねる。	B		
		ホームルーム活動の時間を有効に活用し、3年間を見通した計画的進路指導を行う。	B		
第3学年	何事にも積極的に学習に取り組ませ、自己の進路実現を果たさせる。	大学セミナー・職業観育成講座・各種セミナーを通じて主体的に生きる態度を養う。	A	A	今年度は、「校内美化」を大きな目標にして取り組んだ。ゴミの分別や月一回、部活動のゴミ出し日を設け徹底した。しかし、普通の学校生活の中で、自主的な行動は多くは見られなかった。次年度は済美委員の活動をより活発にし、美化週間などを上手く利用し、生徒の美化意識を高めたい。献血の実施に関しては、初年度にも関わらず多くの協力を得ることができた。時期等を見直し、更に来年度は充実させていきたい。また、今年度に引き続き学校医や専門医と連携を図り、心身ともに生徒達を支援したい。
		小論文、弁論大会等の取組をととして、言語活動の充実を図り、表現力・コミュニケーション能力を身につけさせる。	A		
		時間厳守、挨拶、身だしなみ、清掃に対する姿勢を身につけさせ、自ら考え自らを律するよう指導する。	B		